

# **RACING**

## **RADIATOR HOSE KIT**

□車 名:スズキ アルトワークス/アルトターボ RS  
□型 式:DBA-HA36S  
□機関型式:R06A(ターボ)  
□ミッション:MT/AT(AGS)  
□年 式:2015年12月~/2015年3月~  
□製品番号:18883

**取 扱 説 明 書**

**BLITZ**

この度は、弊社ラジエーターホースをお買い求め頂き、誠に有難うございます。以下の注意点を正しくご理解の上、お取り付けくださいます様お願い申し上げます。

## [1]安全上のご注意

### ■ はじめに

- ・ 本製品はスポーツ走行を前提とし開発、製作しており、リビルトパーツとは異なります。取り付けに際しては、細心の注意を持ってお取り扱いください。
- ・ この製品についての説明には、製品を使用する際と、自動車に装着する際の注意事項が記載してあります。良くお読みになって、正しくお使いください。
- ・ 装着車輛に、この製品以外の製品装着や改造を行った場合に発生する不具合に関して、弊社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- ・ お客様ご本人または第三者の方が、この製品および付属品の誤った使用や、その使用中に生じた故障、その他の不具合によって受けられた障害については、弊社は一切その責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- ・ この製品および付属品は、改良のため予告なく変更する事があります。

### ■ 警告

この表示を無視して、誤った取り扱い・作業を行うと、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される危険の状況を示します。

- ・ 換気の良い場所で取り付け作業を行ってください。  
換気の悪い場所で作業を行うと、爆発・火災の原因となります。
- ・ バッテリーのマイナス端子をはずしてから、取り付け作業を行ってください。  
配線のショートなどによる火災、電装部品の破損、焼損の原因となります。
- ・ コネクタを外す場合、ハーネスを引っ張らず、必ずコネクタを持って取り外してください。  
ショートなどによる火災、電装部品の破損、焼損の原因となります。
- ・ この製品に異音・異臭などの異常が生じた場合には、製品の使用をすみやかに中止し、販売店または弊社までお問い合わせください。  
そのまま使用すると、感電や火災、電装部品の破損の原因となります。
- ・ この製品の取り付け時に、エンジンルーム内の電気配線や配管類を傷つけないよう注意してください。  
ショートなどによる火災、電装部品・エンジン・車輛の破損の原因となります。
- ・ 部品交換は自動車が不安定な状態で作業すると危険です。必ず自動車作業専用リフトを使用して、安全に作業してください。

#### 【二柱式リフトをお勧めします】

やむをえずガレージジャッキを使用する場合は、必ずリジットラック(馬、安全スタンド)を併用して安全に作業してください。車載ジャッキでの作業は危険なので絶対に行わないでください。

## 注意

この表示を無視して、誤った取り扱い・作業を行うと、人が軽傷また中程度の傷害を負う可能性が想定される危険な状況および物質損害の発生のみが想定される状況を示します。

- ・ この製品の取り付けは、必ず専門業者に依頼してください。  
取り付けには専門の知識と技術が必要です。
- ・ この製品を装着前に落下させたり、装着時に無理な力を加えないでください。  
装着不良や水漏れの原因になります。
- ・ この製品の加工・分解・改造は行わないでください。
- ・ この製品の取扱いは慎重に行ってください。落としたり強いショックを与えないでください。  
事故、火災、感電、電装部品の破損、焼損の原因となります。
- ・ エンジンルーム内の温度が下がってから、作業をはじめてください。  
エンジン本体、ラジエーター、排気関係の部品は高温になり、火傷の恐れがあります。
- ・ 定期的に点検を実施し、十分に注意してご使用ください。  
この製品は耐久性を考慮して、厳選された材料を使用し、厳重な社内品質管理のもとに製造されていますが、車両の使用条件などにより、耐久性が落ちたりする事があります。
- ・ 取り付け作業のために一時的に取り外す純正部品は、破損・紛失しないように大切に保管してください。  
当社は取り付け作業による物的損害の責任を負うことはできませんので、慎重に作業を行ってください。
- ・ ボルト・ナット、バンド類は、適切な工具で確実に締め付けてください。  
必要以上に締め付けを行うと、ボルトのネジ部が破損します。

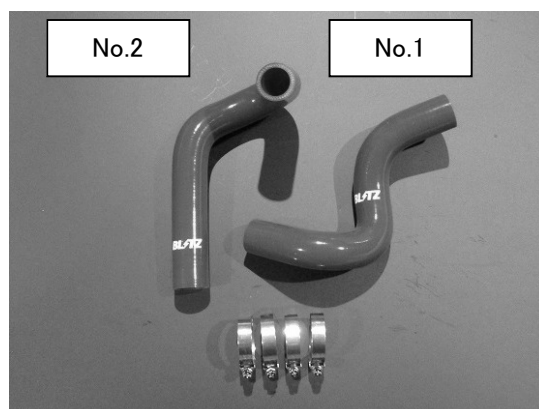
## 重要事項

- ・ この製品はノーマル車輛を基準に製作されています。  
ノーマル車輛以外に取り付けた場合は、製品の機能・性能及び安全性・耐久性について保証いたしかねます。
- ・ 製品装着時は、異物が混入しないよう、十分に注意をしてください。  
異物等が混入すると最悪の場合エンジン破損の原因になる場合があります。
- ・ 純正部品の取り付け、取り外しの作業はメーカー発行の整備要領書をよく読んでからおこなってください。  
整備要領書がお手元にはない場合はメーカーにてご購入ください。
- ・ 走行前には、冷却水の漏れがないか点検を行ってください。漏れのある状態での走行は、車輛エンジン破損等の恐れがあり危険です。

## [2]取り付け作業にあたって

- ・ 当社商品は純正形状を採用しており、基本的には純正品に準じた取り付け方法となっております。ただしホースの外径が増す為、一部の車輛においては、ファンシュラウド等が干渉するケースがあります。その場合にはシュラウドを加工し、干渉しないようお取り付けください。

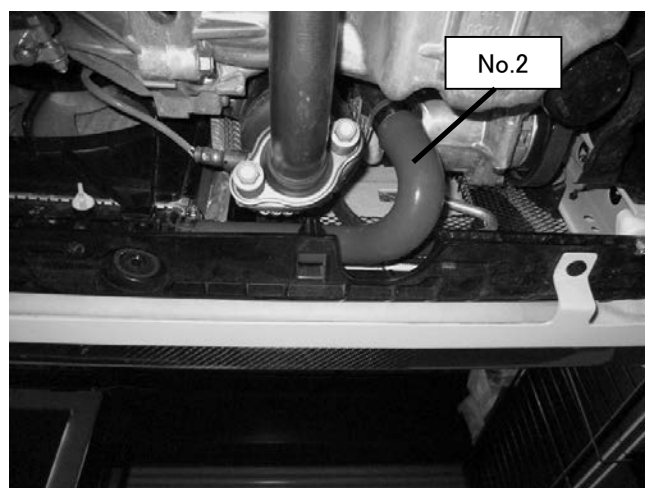
### [3] パーツ構成



- |                          |               |               |
|--------------------------|---------------|---------------|
| <input type="checkbox"/> | ラジエーターホース     | 2本(No.1、No.2) |
| <input type="checkbox"/> | ホースバンド(No.20) | 4個            |
| <input type="checkbox"/> | 取扱説明書         | 1部            |

### [4] 装着手順

- 1 バッテリーのマイナス端子を外す。
- 2 アンダーカバーを取り外す。
- 3 ラジエータードレンプラグを外し、ラジエーターキャップを外して冷却水を抜き取る。  
※エンジンルーム内が冷えていることを確認してから作業を行ってください。水温が冷えていないと、ラジエーターキャップを外す際、冷却水が噴出し、やけどする恐れがあります。
- 4 エアクリーナーケース等、ラジエーターホースの取り外しに影響する部品を取り外す。
- 5 ラジエーターホースを取り外す。
- 6 純正のラジエーターホースのレイアウトと比較し、同じ向きになるようにキットのホースを取り付ける。  
下図を参考に取り付けてください。  
※付属のホースバンドを使用して取り付けを行ってください。
- 7 取り外しと逆の手順で取り付けする。



## [5]冷却水の注入、エア抜き

- 1 ドレーンプラグ、クランプの締め付けが確実か確認する。
- 2 キースイッチをONにし、ヒーターコントロールの設定温度をHOT側のMAXにする。
- 3 エンジン側にエア抜きプラグが付いている車両は取り外す。
- 4 冷却水をラジエーターのキャップ口元いっぱいまで注入する。  
※ラジエーターインレットホースおよびラジエーターアウトレットホースを手で数回圧迫し、ラジエーター注入口の水位が下がる様であれば、追加注入してください。  
※エア抜きプラグの有る車両は、途中でエア抜きプラグから冷却水が噴出したらプラグを閉じてキャップ口元いっぱいまで注入してください。
- 5 リザーバータンクの“MAX”ラインまで冷却水を補充する。
- 6 ラジエーターキャップを閉じてエンジンを始動し、サーモスタットが開弁するまでアイドリング回転を保持する。
- 7 純正水温計が上昇している事を確認し、ラジエーターローアホースを手で触って温水が流れていることでサーモスタットの開弁を確認する。
- 8 サーモスタットの開弁を確認後、空吹かしを数回行う。  
※水温の上がり過ぎに注意すること。
- 9 エンジンを停止する。
- 10 冷却後、ラジエーターキャップを外し、冷却水の液面を確認する。液面が下がっている場合は4項以降の作業を繰り返す。
- 11 液面が下がらなくなったらリザーバータンクの“MAX”ラインまで冷却水を補充する。

以上で、本キットの取り付けは終了です。

## [6]取り付け後の確認

- 1 パイプ、ホース等配管に間違いがないか再度確認してください。
- 2 ボルト、ナット類、ドレンボルトの締め忘れがないか確認してください。
- 3 冷却水等の漏れ、にじみがないか確認してください。
- 4 再度リザーバータンクの“MAX”になっているか確認してください。
- 5 一度冷えてから再度冷却水量を確認してください。

## [7]最後に

### 【作業の方へお願い】

- ・ 作業が終了しましたら、本取り扱い説明書は必ずお客様に返却してください。

**●製品についてのご相談先**

製品についてのお問い合わせは下記 BLITZ Support Center までお願いします。

■連絡先 BLITZ Support Center

■TEL 0422-60-2277

■住所 東京都西東京市新町 4-7-6

■FAX 0422-60-0066



株式会社 ブリッツ

URL：<http://www.blitz.co.jp>

TEL：0422-60-2277

住 所：〒202-0023 東京都西東京市新町 4-7-6

取扱説明書番号：0001